

令和6年度 部長政策宣言 達成状況報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

会 計 管 理 者

教育委員会事務局長

消 防 長

市民病院事務局長

令和6年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和6年度重要事業

事業名	新たな総合戦略の策定及び人口ビジョンの見直し
目標	地方創生と人口減少抑制を目指して策定した「第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和6年度に最終年を迎えることから、最新のデータに基づく「射水市人口ビジョン」の見直しを行った上で、令和7年度を初年度とする新たな総合戦略を策定します。
年度末達成状況	国立社会保障・人口問題研究所が示す人口移動状況等のデータや市民アンケートから算出した市民希望出生率を基に、2060年の目標人口を7万人に設定するとともに、目標人口達成に向けた取組を位置付ける「第3期射水市創生総合戦略」を策定しました。
自己評価	若い世代の東京圏への転出等、本市の課題解決に向けた各種の施策を総合戦略に位置付けました。人口動態の改善、地方創生の実現に向け、総合戦略を着実に推進します。

事業名	行財政改革の推進
目標	市役所内業務のデジタル化に併せ、業務改革につなげるための業務プロセス調査を実施するほか、第5次行財政改革集中改革プランに掲げた取組の進行管理を徹底し、着実に行財政改革を進めます。
年度末達成状況	業務プロセス調査の実施により、各業務の現状分析や業務プロセスの可視化を行いました。 第5次行財政改革集中改革プランについては、令和6年度改訂版として、緊急的な事態に対応すべき課題を含め、数値目標や取組スケジュール等の時点修正を行いました。令和6年度改訂版の進行管理を徹底し、個別の取組を進めています。
自己評価	全庁的な業務プロセス調査により、現状の業務プロセスを詳細に把握し、業務改革に向けた基礎資料を整理しました。今後は、この結果をもとに効果的な改善策を立案し、実行していきます。 また、集中改革プランについては、第5次大綱の基本理念である「社会変化に柔軟に対応する行財政運営」を実現すべく、引き続き、行財政改革を着実に推進します。

事業名	人材の確保
目標	<p>令和6年2月策定の新たな定員適正化計画に基づき、適正な事務・事業の執行に必要な人材はもとより、市民生活を支える各種事業の充実に必要な専門職・技術職をはじめ、懸案事項や新たな政策課題の解決に必要な人材の確保に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>今年度実施の職員採用試験では、全ての試験区分で採用予定者数を確保できました。また、必要な技術職員数の確保に向けて、今年度新たに技術職（土木・建築）向けのインターンシップを実施したほか、技術職現場見学会では近県の高等教育機関に直接案内したことにより、例年よりも多くの方に技術職員の仕事を知っていただくことができました。</p>
自己評価	<p>技術職員の確保に向けては、今後、富山大学や富山県立大学の学生に向けてPRする機会を設ける予定であり、採用者の確保につなげていきます。</p> <p>引き続き、定員適正化計画に基づいて定員の適正化に努めます。</p>

令和6年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 北 辰巳

○ 令和6年度重要事業

事業名	防災・減災対策の推進
目標	<p>令和6年能登半島地震を踏まえ、情報伝達や避難実態等に係る調査・検証を行い、各種防災マニュアルの見直しを行うなど、今後の災害対応の強化を図ります。</p> <p>また、引き続き、住民が主体となって、それぞれの地区で想定される災害の特性等を踏まえた防災活動について定める「地区防災計画」の作成を促進するとともに、防災士の育成・養成に取り組むなど、共助による地域防災力の向上に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>令和6年能登半島地震対応検証委員会を設置し、今回の地震における市民の避難行動や避難所開設・運営、本市の災害対応等について検証を行い、今後の改善策の方向性を整理しました。</p> <p>また、出前講座や地域振興会関係者への講演会実施等により、地区防災計画の作成促進に取り組み、今年度新たに複数の地域振興会が計画作成に着手されました。</p> <p>さらには、新規防災士の資格取得に向け、地域振興会と連携し支援に取り組み、新規防災士17名（うち女性5名）を養成しました。</p>
自己評価	<p>能登半島地震の災害対応について、今後の改善策の方向性を整理しました。また、地区防災計画作成に取り組む地域の増加や、防災士の増加を図りました。</p> <p>今後、地震対応の検証結果を踏まえた各種災害対応の改善に努めるとともに、引き続き、地区防災計画の作成促進や防災士の育成・養成に取り組む、地域防災力の一層の向上を推進していきます。</p>

事業名	税財源の確保及び健全で持続可能な財政運営
目 標	<p>令和6年能登半島地震や社会情勢が及ぼす市税への影響の把握に努めるとともに、引き続き、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のため、多様な納付環境の充実と適切な滞納整理の実施による市税等の収納率向上を図ります。</p> <p>また、第3次総合計画前期実施計画に基づく中期財政見通しを踏まえ、決算上の剰余金を活用した基金への積立てや市債の繰上償還を行うなど、健全で持続可能な財政運営に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>能登半島地震に伴う市税の対応として、地方税法等の規定に基づき、適正に減免措置及び特例措置を適用しました。また、税制改正の動向について情報収集等を行い、市税に及ぼす影響の把握に努めました。</p> <p>収納管理では、QRコード決済の対象税目に市県民税・森林環境税（普通徴収）及び国民健康保険税を追加しました。</p> <p>前年度の決算上の剰余金を活用した市債の繰上償還を実施し、将来にわたる財政負担の軽減を図ったほか、予算執行段階における効果的・効率的な支出を徹底し、健全で持続可能な財政運営に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>QRコード決済の対象税目拡大など、納付環境の充実を図りました。引き続き、公正かつ適切な賦課徴収に努めていきます。</p> <p>令和7年度予算編成においては、基金の活用や公債費の抑制により、総合計画に掲げる重点施策等の必要な事業への予算配分を行うことができました。引き続き、将来にわたり健全な財政基盤を堅持するための取組を進めていきます。</p>

事業名	公共施設等マネジメントの推進
目 標	<p>公共施設の包括管理業務委託や民間提案制度などの公民連携手法を有効活用しながら、引き続き、公共施設等の安全性・利便性の向上に努めるとともに、未利用市有地等の利活用に積極的に取り組みます。</p> <p>また、社会情勢の変化を踏まえ、公共施設個別施設計画に示す事業費を見直すなど、公共施設マネジメントの具体的な取組の進捗管理に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>包括管理業務委託による巡回点検や、きめ細かな修繕の実施により、公共施設の安全性と利便性を確保しています。民間提案事業では、照明のLED化等により脱炭素化やコストの削減を図ったほか、旧太閤山保育園跡地の利活用提案についての協議を進め事業化につなげました。</p> <p>また、公共施設個別施設計画における各施設の進捗状況及び再試算の結果をとりまとめ、公表しました。</p>
自 己 評 価	<p>包括管理業務委託や民間提案事業などにおいて、施設等管理に係るコスト削減など、公民連携の取組による成果が現れてきており、引き続き、公共施設等マネジメントの推進に努めます。</p>

令和6年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和6年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりの推進
目標	<p>協働と共創のまちづくりを進めるため、まちづくりに関する情報提供や情報交換、まちづくりに関する課題などを共有できる「まちづくりラボ」を実施し、地域活動の活性化と多様な主体との連携推進を図るほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。</p> <p>また、台北市士林区との友好提携5周年記念式典の開催等、友好・姉妹都市と幅広い分野での交流促進を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>まちづくり活動をしている団体等がつながる場として「まちづくり談話室」を毎月1回開催し、地域活動の活性化と多様な主体の連携を推進したほか、多様性を認め合い尊重できる社会の実現を目指すため「ダイバーシティ講演会」を開催しました。</p> <p>また、台北市士林区から訪問団を迎えた友好提携5周年記念式典において、更なる友好の絆の強化と幅広い交流の推進について互いに確認しました。</p>
自己評価	<p>引き続き、多様な主体による協働と共創のまちづくりを推進するとともに、性別や国籍に関わらず、地域に住む全ての人が多様な価値観を認め合い、自分らしく暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。</p>

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目標	<p>持続可能で利用しやすい公共交通の実現を目指し、A I オンデマンドバス「のるーと射水」の運行エリア拡大に取り組むほか、引き続き、高齢者等の近距離移動手段の確保の取組に対する支援や、越中大門駅のバリアフリー化に取り組みます。</p>
年度末達成状況	<p>A I オンデマンドバス「のるーと射水」について、本市北東エリアにおいて、令和6年9月からの実証運行を踏まえ、令和7年4月から本格運行を開始します。</p> <p>また、高齢者等の近距離移動手段の確保に支援したほか、越中大門駅のバリアフリー化に係る詳細設計を行いました。</p>
自己評価	<p>出前講座や各種取組を通じ、地域公共交通の利便性向上に努めました。</p> <p>今後は、「のるーと射水」の他エリアへの拡大や越中大門駅へのエレベーター設置工事に着手するなど、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に努めます。</p>

事業名	被災家屋等の適切な処理
目標	令和6年能登半島地震により被害を受けた被災家屋等について、市が所有者に代わって公費で解体・撤去を行い、被災家屋等の倒壊による二次被害の防止並びに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。
年度末達成状況	令和7年3月末時点で、公費解体は対象見込み120件のうち100件（約83%）の解体工事に着手し、64件（約53%）の解体が完了しています。
自己評価	引き続き、迅速かつ適正に事業を進め、令和7年9月末までの事業完了を目標に進めてまいります。

令和6年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 杉本 寿

○ 令和6年度重要事業

事業名	重層的な支援体制の推進
目 標	市民が抱える複雑化・複合化した様々な生活課題に対し、あらゆる関係機関が連携・協働しながら包括的な支援を実施し、誰もが安心して自分らしく生活できる地域づくりに取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	<p>既存事業では支援対象とならない制度の狭間にある世帯が抱える課題の解決に向け、重層的支援会議等を開催し、当事者のニーズに寄り添いながら、各種制度の利用につながるよう地域包括支援センターや医療機関など庁内外の関係機関と連携・協働し継続的な支援を行いました。</p> <p>また、不登校児童生徒が家族以外の地域の人と交流し体験活動をする機会や、義務教育終了後の年代で就労・就学していない方の居場所づくりに取り組み、社会とのつながりを回復できるよう参加支援事業を実施しました。</p> <p>さらに、地域の支援機関等が顔の見える関係を構築できるようプラットフォーム交流会を開催しました。</p> <p>そのほか「身寄りがない方の支援に関するガイドライン」を作成し、権利擁護支援の理解促進に努めました。</p>
自 己 評 価	引き続き、関係機関とのネットワークを強化し、多様な居場所づくりなど支援に必要な社会資源の確保に努め、地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制の整備に取り組みます。

事業名	子育てに関する相談支援体制の充実・強化
目 標	母子保健と児童福祉の機能を一体化し、本年度から設置している「こども家庭センター」において、切れ目のない伴走型のきめ細かな相談支援を行います。
年 度 末 達 成 状 況	<p>こども家庭センターにおいての新規事業として、家事・育児サポート事業、未就園児等全戸訪問・アウトリーチ支援事業等を実施し、積極的な関わりの中で虐待を未然に防ぐ支援を行いました。</p> <p>また、こども食堂や居場所に対する支援を行うなど、こどもたちが安心して過ごせる場の確保に取り組みました。</p>
自 己 評 価	引き続き、こどもまんなか社会の実現を目指し、新設するこども家庭部と連携を図りながら、切れ目のない伴走型のきめ細かな相談支援を行います。

事業名	福祉・健康計画に基づく福祉施策の推進
目標	市民ニーズを踏まえ、昨年度に策定した「射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」のほか福祉施策に関わる各計画に基づき、「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。
年度末達成状況	認知症の方が行方不明になった際に、より早く発見・保護できるよう、2次元コードを利用した認知症高齢者みまもり事業「どこシルプラス事業」を開始しました。 また、認知症の人とその家族が集い、仲間づくりや情報交換を行うほか、認知症地域支援推進員やささえ隊メイトと一緒に活動する「なごもっと」を、身近な地域で参加できるよう実施場所を市内全域に拡大し、4か所で実施しました。
自己評価	引き続き、高齢となって支援が必要となっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域のつながりや見守り体制等の充実を図り、支え合う地域づくりを推進します。

事業名	令和6年能登半島地震の被災者生活再建支援
目標	令和6年能登半島地震で被災した方々が、早期に生活再建できるよう、被災者生活再建支援金の支給や義援金の配分、災害援護資金の貸付等、円滑に支援が届くよう取り組みます。
年度末達成状況	罹災証明書を交付された被災者に対し、災害見舞金、知事見舞金、被災者生活再建支援金の支給申請書のほか、災害義援金の配分申請書を送付するなど、速やかに給付や配分を行うことができるようプッシュ型支援を行いました。
自己評価	引き続き、被災者に寄り添い、生活再建に向けた支援を円滑に届けられるよう、部局横断的な連携体制の推進に取り組みます。

令和6年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 塩谷 明永

○ 令和6年度重要事業

事業名	市内経済の振興と中小企業等への支援の実施
目標	令和6年能登半島地震や長期化する物価高騰等により多大な影響を受けている中小企業や市民に対して的確な支援を行うことにより、地域経済の活性化を図ります。
年度末達成状況	市商工協議会が実施する事業、生活支援・消費喚起事業を支援することで、復興支援及び地域経済の活性化に取り組みました。また、市内中小企業の売上向上を目指し、販路拡大や新商品開発等、様々な課題解決に向けた伴走支援を行う、ビジネス支援センターを新設しました。
自己評価	市内商工団体と連携し、実効性のある事業、生活支援・消費喚起事業に取り組むことができました。物価高騰や燃料費の上昇への対応に加え、商品への確実な価格転嫁など、幅広い分野において、引き続き、商工団体と連携し、また、新たに開設するビジネス支援センターでも積極的に支援を行い、より一層の中小企業の支援に取り組みます。

事業名	観光の振興と移住・空き家利活用の促進
目標	道の駅周辺エリアの整備を進めるほか、多様な観光資源を磨き上げ、インバウンド誘客を推進し「稼げる観光」の実現に取り組みます。併せて、移住や空き家利活用に関する情報発信や様々な相談等をワンストップで行う体制づくりと、内川周辺エリアの更なる価値向上に取り組み、観光客や移住希望者に選ばれるまちを目指します。
年度末達成状況	道の駅周辺エリアの整備については、令和7年11月のリニューアルオープンに向け設計や工事を進めたほか、「稼げる観光」の実現に向け、台湾での観光トップセールスや、富山新港花火大会及び新湊曳山祭りでの有料観覧席の本格販売に取り組みました。 また、移住と空き家の相談窓口「#みらいシテン射水」を令和6年10月に開設し、移住希望者や空き家利活用希望者に対する情報発信やワンストップで相談できる体制を整えました。 加えて、市内外の若手有識者で構成する内川未来戦略会議を開催し、内川周辺エリアの価値向上に向けたビジョンを取りまとめました。
自己評価	掲げた目標に向け着実に前進することができました。引き続き、官民が連携し観光客や移住希望者に選ばれるまちづくりに取り組みます。

事業名	農林水産業の推進
目標	<p>循環型農業や環境負荷低減の取組を推進するとともに、農産物の付加価値向上につながるよう、もみ殻シリカ灰を原材料とした土壌改良資材肥料の普及・拡大に取り組みます。</p> <p>また、資源管理型漁業と「いみずのさかな」ブランド力の更なる向上に努めます。</p> <p>併せて、昨年7月の豪雨災害及び令和6年能登半島地震により被害を受けた一次産業を支える生産基盤の早期復旧に努め、持続可能な農林水産業を推進します。</p>
年度末達成状況	<p>もみ殻シリカ灰を原材料とした土壌改良資材肥料は今年度936.6haにおいて本格施用されました。</p> <p>また、台湾への観光トップセールスをはじめ、各種イベントを通じていみずの農・水産物の魅力を国内外へ発信し、いみずブランドの向上に努めました。</p> <p>災害により被害を受けた農業用施設や漁港施設、農道橋については、関係機関と継続的に協議・調整を行いながら復旧工事に取り組んでいます。</p>
自己評価	<p>引き続き、循環型農業・資源管理型漁業の普及・啓発活動に取り組むとともに、災害復旧については全ての施設において、一日も早く安心して農林水産業が営めるよう、引き続き、復興支援に取り組めます。</p>

令和6年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 小川 昌男

○ 令和6年度重要事業

事業名	安全・安心な道路交通の確保
目標	<p>地域を連絡する道路、生活に密着した道路の整備及び橋梁長寿命化等に取り組み、安全で安心して利用できる道路環境の確保に努めます。</p> <p>また、令和6年能登半島地震により被災した市道の復旧工事を推進し、早期復旧に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>市道朴木赤井線、新町八塚線（事業完了）の道路改良工事、駅南大橋、藤巻2号橋等の橋梁長寿命化工事及び市道赤井生源寺線、市道白石1号線、戸破177号線の舗装補修工事を実施しました。</p> <p>また、地震による災害復旧については、13箇所全ての災害査定を終え、8箇所の工事を発注し、4箇所の工事が完了しました。</p>
自己評価	<p>計画どおり事業を進めることができました。引き続き、道路改良、橋梁長寿命化、舗装補修及び災害復旧の各工事に取り組み、利便性向上や安全で快適な道路交通の確保に努めます。</p>

事業名	木造住宅及び被災住宅の耐震化促進
目標	<p>旧耐震基準で建てられた木造住宅は、大規模な地震が発生した際に被害が多く見受けられることから、引き続き、耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>また、令和6年能登半島地震により被災した木造住宅の補強工事を支援することにより被災住宅の耐震化を促進し、建物の安全性の向上を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>新たに補強設計にかかる費用を補助対象に加え、補助制度の拡充を図りました。今年度は、木造住宅の補強設計10件、耐震改修10件について補助を実施しました。また、能登半島地震により被災した木造住宅の耐震改修及び建替に対しても5件の補助を実施しました。</p>
自己評価	<p>市民の生命と財産を守るためには、安心・安全で災害に強い住環境を整えることが重要であり、引き続き、住家等の耐震性が向上する取組に対して支援を行っていきます。</p> <p>また、「耐震化」の必要性について普及啓発に努め、補助制度の利用促進を図ります。</p>

事業名	生活環境の充実
目 標	<p>良好な居住環境の保全、生活利便機能の維持等、地域社会の持続性を高める取組を総合的に展開します。</p> <p>また、多様な機能を有する公園施設の計画的な更新や補修等により、安全でくつろぎ憩える環境づくりを推進します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>小杉地区において、多様な居住者が住み続けられる魅力あるまちづくりを目標に都市再生整備計画を策定しました。</p> <p>また、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新や歌の森運動公園、大島中央公園の園路の改修工事を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>都市再生整備計画事業については、関係機関等と協議を進めるとともに、誰もが住みたい、住み続けたい安全で快適な環境づくりに努めます。</p> <p>公園施設については、安全かつ快適に楽しむことができるよう、引き続き、計画的な更新や補修に努めます。</p>

令和6年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 南 和彦

○ 令和6年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	水道管路を積極的に更新するとともに主要施設の設備更新を実施し、安定給水と耐震化の推進に取り組み、水道施設の強靱化を図ります。
年度末達成状況	配水管更新事業では、西部幹線更新事業など建設改良計画に基づく事業を着実に実施するとともに効果的な進捗に努めました。施設整備事業では、鳥越調整場の水質監視装置更新などの設備更新を実施しました。
自己評価	水道管路及び施設ともに概ね計画のとおり進捗しています。引き続き、計画的に事業を進捗させ、安定給水と耐震化の推進に努めます。

事業名	災害復旧事業・雨水対策事業
目標	令和6年能登半島地震により被災した下水道管の早期復旧に努めるとともに、近年の豪雨による浸水被害の軽減に向け、引き続き、作道、小島及び堀岡地内の雨水対策施設の早期整備に努めます。
年度末達成状況	被災した下水道管の災害査定が終了し、概ね計画した復旧工事の発注を終えています。雨水対策事業では、作道地内の雨水貯留施設について主要な施設が完成し、令和7年度中に供用を開始する予定であり、小島地内の雨水調整池整備については、地元協議を終え、今後、工事着手します。
自己評価	被災した下水道管については早期復旧に向け、事業を推進します。また、雨水対策施設整備についても事業の進捗を図り、浸水被害の軽減に努めます。

事業名	持続可能な事業運営
目標	「水道ビジョン」「下水道ビジョン」の見直しに着手し、災害に強い強靱な施設の構築と事業の効率化を進め、将来にわたり持続可能な事業運営基盤の確立に努めます。
年度末達成状況	「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」については、令和7年2月に上下水道事業経営委員会、令和7年3月に議会での審議を行い、今後は市民を対象としたパブリック・コメントを経て、6月議会に最終案を提出予定です。
自己評価	計画的に事業を進めることができおり、今後は両ビジョンに示す将来の基盤強化に向けた具体的な施策などを市民の皆様に対し、理解と関心を深めていただけるよう、丁寧でわかりやすい情報開示に努めます。

令和6年度 会計管理者「政策宣言」達成状況

会計管理者 大居 弘

○ 令和6年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	公金の安全性確保を第一に、確実かつ有利な資金管理・運用に努め、公金の効率的な管理・運用を図ります。
年度末達成状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入を確保しました。
自己評価	公金の安全かつ有利な運用に努め、一定の利子確保を図ることができました。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等の公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
年度末達成状況	予定していた14か所（金融機関2か所を含む。）全ての調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
自己評価	各課、出先機関において、公金取扱業務の適正な執行を確認しました。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令や会計規則等に基づき、厳正かつ迅速な出納審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。 また、適切な会計処理が行われるよう担当職員に対して会計事務の指導・研修を実施します。
年度末達成状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を5月に実施しました。
自己評価	研修会の実施や直接指導等を通じて、適切な会計処理の周知及び適正で確実な支払事務の執行に努めました。

令和6年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和6年度重要事業

事業名	コミュニティ・スクールの推進
目標	全ての小・中学校に学校運営協議会を設置するとともに、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「射水市コミュニティ・スクール」を推進します。
年度末達成状況	全ての小・中学校に学校運営協議会の設置及び学校支援コーディネーターを配置し、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む体制を構築しました。
自己評価	「射水市コミュニティ・スクール」の連携体制を生かし、各校特色ある教育活動の実践に取り組むため、学校運営協議会での協議を進めるとともに、学校支援ネットワークの更なる充実に努めます。

事業名	持続可能な部活動の推進
目標	休日の部活動の地域移行について、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動においても関係団体と協議を進めます。競技団体等や保護者の協力を得ながら、休日における全ての部活動の地域移行に向けた取組を進めます。
年度末達成状況	休日の部活動については、8運動部（剣道、柔道、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バレーボール、ソフトボール）と1文化部（美術部）の地域展開（地域移行）を実施しました。 また、未実施の部活動の地域展開に向けて、関係諸団体との継続的な調整を行いました。
自己評価	これまでの成果と課題を検証しながら、令和7年度中に全ての休日の部活動の地域展開に向けて取り組みます。 また、平日の活動も含めた学校部活動の今後の在り方について、子ども達が希望するスポーツや芸術文化に親しめる体制づくりと併せて協議・検討を進めます。

事業名	スポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目標	<p>令和6年度からスタートした第2次射水市スポーツ推進計画に基づき、幼児から高齢者まで市民一人ひとりがライフスタイルに応じて、スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりに努めます。</p> <p>また、令和6年能登半島地震で被害を受けたスポーツ施設の早期復旧に努めます。</p> <p>文化財では、ユネスコ無形文化遺産に追加提案された放生津八幡宮祭の曳山・築山行事を始めとする、市内にある各種文化財の保存活用・普及啓発に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>地震で被害を受けたスポーツ施設の復旧状況については、海竜スポーツランドのスロープの復旧は完了しました。フットボールセンターについては、人工芝フィールド2面の再開が令和7年4月末になる見込みです。</p> <p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事の保存活用計画の作成を支援しました。また、能登半島地震による被災文化財の調査を進めるとともに、修理補助など文化財の復旧を支援しました。</p>
自己評価	<p>スポーツ施設については、利用者の皆さんが安全・安心に利用できるよう引き続き、適切な維持管理に努めます。</p> <p>文化財保護団体や地域との連携を図りながら、引き続き文化財の保存活用・普及啓発を推進し、文化財保護意識のさらなる高揚に努めます。</p>

令和6年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 竹内 秀樹

○ 令和6年度重要事業

事業名	火災予防対策の推進
目標	<p>市民が安全で安心して暮らせるまちづくりのため、住宅防火診断を実施し、防火意識の普及啓発と住宅用火災警報器の設置・維持管理を推進します。</p> <p>また、地震発生時に火災予防に役立つ感震ブレーカーのPRに努めます。</p> <p>火災の危険性が高い工場・事業所に対して査察を実施するとともに、消防訓練を実施し、防災体制の強化を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>住宅防火診断の実施については、今年度2,781軒に対し実施し、火災から命を守る住宅火災警報器の設置、維持や地震の際に役立つ感震ブレーカーをPRすることができました。</p> <p>工場・事業所に対し、火災の危険性や自動火災報知機等の消防設備に不備がないか査察を行い、火災予防運動期間に合わせて消防訓練を実施しました。</p>
自己評価	<p>住宅防火に関しては、今年度、住宅が全焼する火災は発生しておらず、市民の方々の防火意識が高まった結果と考えています。</p> <p>工場・事業所においては、ボヤ程度の火災が多く発生しましたが、初期消火により大事には至らず、従業員の方々が参加する消火技術競技会の効果が現れたものと考えています。</p>

事業名	応急手当の普及啓発及び救急車の適正利用の促進
目標	<p>ケガ人や急病人が発生した場合、近くにいる人が迅速に応急手当を行うことで救命効果の向上につながるため、応急手当の知識・技術の習得がされるよう若年層に対しても働きかけます。</p> <p>緊急性の高い傷病者のもとにいち早く救急車が駆けつけることができるように適正利用をPRします。</p> <p>また、こども医療電話相談事業（#8000）や、今年度から始まる救急電話相談ができる救急安心センター事業（#7119）の周知に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>今年度2,481人の方が救命講習を受講され、応急手当の知識や技術を学んだほか、救急車の適正利用やこども医療電話相談事業（#8000）、救急安心センター事業（#7119）に関する知識を深めました。救急安心センター事業について、令和6年5月のサービス開始以来令和7年1月まで、射水市からの相談件数は351件でした。</p>
自己評価	<p>救急出動件数は増加の一途を辿り、過去最多となっています。</p> <p>緊急性の高い傷病者のもとにいち早く救急車が駆けつけることができるように、引き続き、適正利用をPRします。</p>

事業名	消防力の維持・強化
目標	<p>消防力の維持・強化のため職員の知識・技術の向上を図り、消防団施設の整備を進めるとともに、消防団との連携訓練や隣接市との協力体制を充実強化し、消防体制に遺漏のないよう努めます。</p> <p>救急自動車の更新整備、救急救命士の養成を行い、増加する救急出動に迅速かつ的確な処置を実施できるように対策を進めます。</p>
年度末達成状況	<p>消防団の施設整備については堀岡分団の屯所を移転新築し、団員の方が活動しやすい環境となりました。</p> <p>また、新湊消防署において県内初の電動ストレッチャーを採用した救急車に更新し、傷病者の安全や隊員の負担軽減を図りました。知識・技術の向上については、消火技術訓練や救急シミュレーション訓練等を実施しました。</p>
自己評価	<p>施設や設備を強化し、地域の安全・安心につなげることができたと考えています。今後、その施設や設備を使い訓練を積み重ね、消防団の方々や隣接市との協力体制を強化していきます。</p> <p>救急救命士の養成については職員から1名、新規採用者から1名資格取得を見込んでおり、引き続き、迅速・的確な処置ができる救急隊員の養成を目指します。</p>

令和6年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 宮本 康博

○ 令和6年度重要事業

事業名	経営強化に向けた取組の推進
目標	将来にわたって持続可能な地域医療提供体制を確保していくため、引き続き、救急医療体制の堅持と地域包括ケアシステムの推進を図り、急性期から回復期まで質の高い医療を幅広く提供していくとともに、「射水市民病院経営強化プラン」で掲げた経営強化に係る取組を着実に実施することで市民病院の経営強化を推進します。
年度末状況	富山大学附属病院との連携を強化し、手術件数の増加、救急搬送に係る協定の締結など、入院患者を中心に患者確保に取り組んだことで医業収益は大きく増加する見込です。 一方で、給与改定による人件費や、物価高、労務単価の上昇による維持管理費など、費用についても大きく増加する見込です。
自己評価	これまで以上に関係機関との連携を強化することで医業収益の向上を図るとともに、増大する費用について見直しを図ることで経費削減に取り組むなど、「射水市民病院経営強化プラン」に掲げた経営改善に係る取組を推進します。

事業名	効率的で効果的な病院運営の推進
目標	令和6年度診療報酬改定の内容を精査するとともに、医師・看護師を始めとした医療人材を確保し、安全・安心で質の高い医療の推進に努め、効率的で効果的な病院運営を推進します。
年度末状況	診療報酬改定に対応した施設基準等の取得に取り組みました。 また、新たに常勤医が確保されたことで、今後、患者の確保と医業収益の向上が期待できると考えています。
自己評価	安全・安心で質の高い医療を提供するために、さらなる医師や看護師など医療人材の確保に取り組むとともに、診療報酬改定を踏まえた効率的な病院運営を推進します。

事業名	地域連携と広報活動の推進
目 標	<p>開業医や他病院、介護施設との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。</p> <p>また、病院ホームページや広報誌の活用、健康に関するイベントや出前講座の実施など、病院の積極的な広報活動を推進します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>射水市医師会と共同で9月に「病診連携の会」を開催するとともに、オンラインによる症例検討会を開催することで連携強化に努めました。</p> <p>また、11月には「射水市民病院健康フェスタ」と題して院内でイベントを開催し、市内外から多くの方に参加いただき、市民病院を身近に感じていただきました。</p>
自 己 評 価	<p>市民の皆様が市民病院を利用してもらうためには病院広報は大変重要であると認識しており、イベントの開催や、出前講座の実施、各部署が開催するイベントへの出張など、自らが積極的に情報発信するなど広報活動を推進します。</p>